

(平成31年度)

AO入試
(環境・社会理工学院B)
総合問題 (筆記)

90分

注意事項

1. 試験開始の合図まで、この冊子を開かないこと。
2. この冊子には、問題用紙2ページが含まれている。答案用紙は2ページである。
3. 答案用紙の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
4. 2問すべてに解答すること。
5. 解答は1問ごとに、別々の答案用紙に記入すること。裏面は使用しないこと。

問題 1 :

現在、南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの自然災害の発生が懸念され、その被害を最小限に抑えるために「自助」、「共助」および「公助」の取り組みが重要と考えられている。

- (1) 「自助」、「共助」および「公助」の意味と災害の発生前、発生直後および災害後の復旧・復興におけるそれぞれの具体的内容について 200 字程度で説明せよ。

図は、防災に関する世論調査をもとに作成した自助、共助、公助に関する意識の変遷である。

- (2) 図のように「自助」、「共助」および「公助」への意識が変化してきた理由について、あなたの考えを 200 字程度で述べよ。

- (3) 災害による被害を最小限にするための「自助」、「共助」および「公助」の適切な割合について、あなたの考えを 200 字程度で述べよ。

著作権処理の関係上、公開していません

(出典：内閣府政府広報室「防災に関する世論調査」をもとに内閣府作成)

問題 2 :

与えられたブロックを用いて、所定の幅を渡す橋を作成し、以下の3つの観点におけるその橋の特徴をそれぞれ 200 字程度で説明せよ。なお橋は可能な限り大きな重さに耐えられるものにすると同時に、使用するブロック数は可能な限り少なくなるようにすること。また初期に地形として組まれたブロックの形を変えてはならない。

- (1)機能的な観点から見た形状
- (2)景観的な観点から見た形状
- (3)橋の強度を高めつつ、同時に使用するブロック数を少なくするための工夫